

『蜜族の花嫁～堕ちた姫君～』の口コミに関する独自調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『蜜族の花嫁～堕ちた姫君～』の口コミに関する独自調査結果
調査対象	蜜族の花嫁～堕ちた姫君～を読んだことのある20代～40代の男女31名
調査期間	2025年3月20日～2025年3月22日 2025年7月18日～2025年7月19日 2025年9月26日～2025年9月27日 2025年10月25日～2025年10月26日 2025年11月24日～2025年11月25日 2026年1月2日～2026年1月3日 2026年4月13日～2026年4月14日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/ban-zokunohanayome/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 蜜族の花嫁～堕ちた姫君～を実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

Q3: 蜜族の花嫁～堕ちた姫君～の口コミを教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	1人
30代男性	10人
30代女性	8人
40代男性	8人
40代女性	4人

Q2: 蛮族の花嫁～堕ちた姫君～を実際に読んだ評価を5段階で教えて下さい。

～～作品の5段階評価について～～

★★★★★(とても面白かった): 絵・物語・キャラに魅力を感じた。続きがあればぜひ読みたい

★★★★(面白かった): 漫画の内容で面白かったり、満足できる要素が一つでもあった。

★★★(普通): 面白いとも面白くないとも言えない。

★★(面白くなかった): あまり好きではない描写や要素があった。

★(全く面白くなかった): 読んでいて不快・退屈だった。

★★★★★	16人
★★★★	14人
★★★	1人
★★	0人
★	0人

Q3: 蛮族の花嫁～堕ちた姫君～の口コミを教えてください。

この作品は、姫を他の人にとられてしまう騎士の切なさや、やるせなさといった感情描写が非常に上手いと思いました。蛮族たちの行為はとても卑劣なものですが、その中でも姫と騎士はお互いを愛で繋ぎ止めようとしている姿に感動しました。なかなか重苦しい展開と切ない余韻が残る作品ですが、読んでいくほどにストーリーに引き込まれていきます。

この作品は物語展開がとてもスリリングですね。姫が近衛騎士ユリウスと恋仲になり駆け落ちしてしまうのですがその最中に蛮族に捕まってしまうので見ていてすごくドキドキ感を味わえますね。ユリウスの立場になってみていくとすごく切ない気持ちも抱けるのでそこが又いいですね。姫を守りたいという気持ちがユリウスの表情から溢れていたのも、その場面がこの作品の一番の見どころになっています。

主人公は政略結婚が嫌で、本当に好きな騎士のユリウスと駆け落ちをする所に驚きました。馬車の中で二人きりになり、ユリウスが亡くなった母の形見のネックレスを主人公に渡すシーンは良かったし、罪人となって後先無くなったのに、主人公と一緒になれたことを心から喜んでいる姿に心が温まりました。幸せムードの中、突然2人を運んでいる馬車が襲撃にあった時は驚いたけど、主人公を一生懸命庇うユリウスがかっこよかったです。

作中に出てくる蛮族兄弟に注目してほしいですね。すごく男らしい雰囲気や姫のことを自分たちのものにしようとする躍動していくのでその姿から目が離せません。個人的に兄であるバラムの存在感がすごいですね。弟ソルに比べてわがままな性格で自分の思い通りにしたいという欲望が強い感じが作画から溢れていて魅力的です。姫の想い人ユリウスを挑発するような行動も取っていくのでその点も面白いですね。

姫様と護衛騎士ユリウスの恋の行く末も悲しいのですが、バラムとソルの過去や2人が背負っているものもどこか物悲しくて、やるせなく救いのないストーリーに心を揺さぶられました。また、細部までいねいに描き込まれ、しっかりとした筆致の絵柄がシリアスで重厚な世界観にぴったりマッチしていて、非常に完成度の高い作品だと思いました。

まず魅力と言えるのが、高貴なる王国の姫が、彼女を守る騎士から蛮族に奪われるという展開

です。武力では蛮族のほうが勝り、美しい姫が一方的に乱暴に奪われていくという悲壮感・喪失感には惹きつけられるものがあります。ひとたび王国を出てしまえば、騎士という肩書も姫という地位も一気に無となってしまふ。駆け落ちをしたのだから自業自得とは言え、その残酷さには魅入られました。

ストーリーがわかりやすくテンポもよく読みやすく、物語に入っていくやすい作品だと思いました。かわいい、カッコいい、力強い、などのキャラクター描写が的確で丁寧でいい臨場感を出せていると思います。蛮族の世界観も荒々しさがほどよく表現されていてとてもよいと思いましたし、キャラデザも男らしさがありながらもきれいな感じがあっていい印象を持ちました。

騎士と駆け落ちして政略結婚から逃げる途中で蛮族に捕まり、かつての父親の悪逆の責任を取らされて嫁になることを強いられ、毎晩恋人である騎士の前で腹違いの兄弟2人に迫られるところにゾクゾクしました。

逃げ出した姫君が、蛮族にされまくるというヤバすぎるシュチュエーションです。ゾクゾクする展開なので見応え抜群です。読み応えあっておもしろい展開だからすごくいいですね。蛮族兄弟がめっちゃイケメンすぎるから、むしろいい感じかもとかついついやばいことを想像してしまいます。

元々逃げ出してきた騎士と姫君でしさが、蛮族兄弟につかまって大ピンチ。体格差ある感じでガンガイグイ来られる感じがやばすぎますよね。見どころ満載だし、すごく絵も上手だからそれだけで目の保養にもなります。NTR要素があるからハマる人はめっちゃくちゃはまるはずですよ。

この手の設定は男性向けに多いと思うのですが、女性も安心して読めます。というのも...ひどいことをされるとはいえ相手がイケメンなんですよ。それでいて、めっちゃくちゃうまい。もちろん苦しみはあるのですが痛くされるというわけではなく、とことんよくなってしまうのです。ちょっとだけ、自分もこんなことされてみたいなあと思ってしまいました。

お姫様が愛してしまったのは、決して悪い男ではありません。でも短慮で、姫様のことを守れない弱い男。そんな男が出てくることで、より蛮族二人の強さのようなものがよりよく見えるような気がしました。そして、本当に世間知らずなお姫様なんだなあというのが伝わってきます。もう、今後の明るい未来は期待できないだろうと思える絶望感が、すごくゾクゾクして最高でした。

蛮族ということで、1対1でもお相手するのが苦しそうながつちりとしたマッチョ兄弟。でも、そんな兄弟と複数ですることになってしまうお姫様。もうこの時点でヤバいこと間違いなしです。しかもお姫様は国のために誇り高く動いているような人ではなく、本物の温室育ちな人。そんな純粋無垢なお姫様がどんどん教育されていくところにゾクゾクしてしまいます。

政略結婚を嫌って騎士とともに逃げ出したお姫様が、よりもよって敵につかまり騎士の前で。無理やり系が好きなお姫様にはたまらないシュチュエーションです。何も知らない箱入り娘といった感じで、そんな彼女が一気に大人の世界を教え込まれるのはかわいそうですね。でもそうなるのには理由があるみたい。父親の責任は娘の責任と言われても困りますが。

蛮族と言っても、敵だからこそそう思われているだけであちら側では普通の若者。無理やりだけど痛いのかないし、まだましな方では。痛みはほぼ与えていないので、そういうのはなしで無理やり系を見たいという方にピッタリです。むしろこんなマッチョ系二人に毎晩ってちょっとうらやましい気もするのですが。

ちょっと考えが甘かっただけで、選んだ相手が悪くままと捕まってしまった。父親のせいで恨まれてしまった。本人は悪くない。とはいえ、その国を支配するものの娘である以上は、ある程度本当の姿を知っておくべきでしたよね。そのおかげでごちそうが食べれて生きてきたのですから、やはり本人の罪なのかも。

愛し合っている男女の関係が、蛮族たちによって容赦なく引き裂かれていく切なさを見事に描けているのが、この作品の良かったところです。ヒロインはパートナーの騎士を守るために自分から身を差し出すなど、優しさと健気な性格が伝わってきます。蛮族たちに奪われてしまったヒロインの心情が、意外な方向にだんだん変化していく様子も注目ポイントです。

ヒロインと騎士、そして蛮族たちによる関係から目が離せなくなる作品でした。蛮族は騎士からヒロインを無理

矢理奪ったりするなど酷い奴らですが、正直そのワイルドな感じがカッコいいなと思ってしまいました。牢獄に閉じ込められ、ヒロインが奪われてしまうのを見てることしかできない騎士の表情が切なく、胸を締め付けられました。

個性のある美しい絵がとても良かったです。ありきたりではなく、この先生にしか出せない魅力が時代や舞台背景と見事にマッチしていると思いました。蛮族とはいえ、棍棒を振りまわすような連中ではありません。とにかく美しいのです。そしてでかい。丁寧に育てられた細いお姫様との対比が本当に素晴らしいと思いました。体格差好きにはたまらない作品の一つです。

圧倒的なのは体格差だけではありません。お互いの立場が全く異なるので、世界の見え方も何もかも違うのです。概要だけ見れば愛する騎士のために頑張る純粋なお姫様に見えるでしょう。しかし、やはりどこか世間知らずで何もわかっていないお姫様。一方、蛮族側はリアルな庶民の生活を知っています。そういった対比のシーンがあちこちに見られて、立場の違いが明確になっているところが好きです。

温室育ちのお姫様が蛮族に徹底的にやられてしまうという展開です。まったく知らない異質の感覚を教え込まれて身も心も染まっていくのが最高。蛮族といってもむさ苦しい山賊のような感じではなく、どちらかというとワイルドな王子様タイプ。そこも嫌悪感なく自然に見れてしまう理由でした。体格差も非常に美しく映える作品です。

男女のどろどろとした人間関係を見るのが好きな人には、この作品をオススメします。ヒロイン自体は何もしていないのに、父親の悪行のせいでトラブルに巻き込まれてしまうという不条理さもこの作品ならではの特徴となっています。とても陰鬱なストーリーですが、ちゃんと盛り上がりどころも用意されているからこそずっと読んでいたくなります。

ただ力づくのようにも見えますが、しっかりと気持ち良さを叩き込まれてお姫様が奈落の底に。そんな残酷さも楽しめてしまう作品でした。仲を引き裂かれて無理やりという展開ですが、あまりそういう話が苦手な方でも楽しめる作品です。お姫様のプライドがかなり高そうなのも、墮ちるギャップと相まってすごくドキドキさせてくれます。

きちんとメスとして開花していくのがGOODすぎ。一国のプリンセスがただ悲劇的に墮落していくだけではなく、ひとりの女として喜びを得てしまう作品です。自分の身体と引き換えに部下を救おうとする健気さ、素敵です。相手の男も妙にカリスマ性がある嫌いになれないんですよえ。意外とお似合いの男女なのかなと思いました。

案外お姫様が簡単に墮ちたこと、騎士のキャラの薄さからあまりNTR要素は感じなかったですね。むしろ騎士はいなくてもいいのではと思うほどでした。もっと騎士のキャラが魅力的だったら騎士に感情移入できたんですけど、非力すぎるし、考えが甘すぎます。ただ、お姫様のスタイルと反応が良すぎるので、それだけで満足できる作品だと思います。男の自分でも楽しめましたし、大人向けのシーンのクオリティは非常に高いです。蛮族の二人は女性向け漫画らしい綺麗なビジュアルをしていましたが、蛮族らしい肉体と責めにはドキドキさせられました。

イラストが綺麗。その一言につきます。とにかくお姫様の身体の描き方がよくて、躍動感あふれるシーンの描き方も最高でした。嫌だけどよくなってしまいうってという表情もすごくよく表現できていると思います。また、そのお姫様の体に見劣りしない蛮族姉弟の体つきも見事でした。特にバラムの胸筋の内側や、腹斜筋の描き方にこだわりを感じます。無駄な脂肪のない理想的な肉体美です。あと、毎回バラムがお姫様の服を破るのを見て、「何回破るんだ」と少し笑えました。あれはバラムの趣味でしょうか。破るために服を着せるというのはいい趣味してますね。

涙を浮かべつつもしっかり良くなっている罪深い女性ですね。交渉自体は男のなすがままなんですけど、喜んですべてのことを受け入れているように見えます。後半の3人での行為もさらに生々しいです。プレイ的にはこっちのほうが上かも。筋肉質の男×2と柔らかな身体の女性が絡み合うシーンが最高すぎます。舌を突き出して高まる姿がよすぎ。

お姫様と騎士というお似合いのカップルが、蛮族によってめちゃくちゃにされてしまうのがこの作品の見どころとなっています。二人とも可哀想だけど、蛮族にもちゃんと事情があったりして、キャラクター一人一人が深く掘り下げられているのが良かったです。お姫様が蛮族にお仕置きされているうちに、人格が変わったようになっていくところも注目です。

ポンコツ近衛騎士で盛大にNTRされてしまうお姫様でなんとも不憫な展開でした。正直に言うと私は少しNTR系

が苦手です。やられている人と寝取られ側に感情移入してしまうとなかなかドキドキしづらくなってしまからです。しかしこの作品では、姫様が徐々に墜ちていくさまが見て取れたので良かったです。NTR作品的には寝取り側は極悪非道で野蛮なほうが良いのですが、今回のようにパラムとソルに品と清潔感があるのは良いと思いました。

政略結婚が嫌だからと逃げた先では、更に最悪の二人がかりで毎晩襲われるという状態に。しかも恋人の前で。確かに彼女の父は悪い奴かもしれませんが、だからといってあんまりでしょう。まあきれいな服を着ておいしいものを食べ平和に居られたのは父のおかげであり、彼女にも多少は責任あるのかもしれませんが、とはいえかわいそうすぎる。

戦利品と表現している時点でかなり野蛮な男たちですが、その荒々しいやり方と体格の差が素晴らしいですね。上品な姫がとことん墜ちていくのも妙なストレス解消になります。NTR要素多めで、特にただ浸って女であることを自覚させられる展開は王道だと思いました。支配される内に悦びを感じているのが最大の見どころです。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス